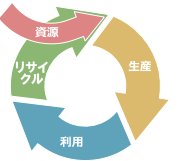


【1 設立趣旨】

あいちサーキュラーエコノミー推進プラン(2022年3月策定)に基づき、リペア・リビルドモデルの具体化に向け、製造、販売、リース、利用、修理、メンテナンスなどを担う事業者が連携して、設備や整備の長寿命化につながるリペア・リビルドの普及や有効な仕組みづくりを行う。



- <メンバー> (8者)
加山興業(株)、(株)小枳屋、サハシ特殊鋼(株)、(株)ダイセキ、日本エンジン(株)、(株)ビジネスサポートOJT、芙蓉総合リース(株)、三井住友トラスト・パナソニックファイナンス(株)
<アドバイザー> 名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 谷川寛樹
<オブサーバー>
三井住友信託銀行(株)、経済産業省中部経済産業局、環境省中部地方環境事務所
(※2024年3月18日現在)

【2 リペア・リビルドを取り巻く状況】

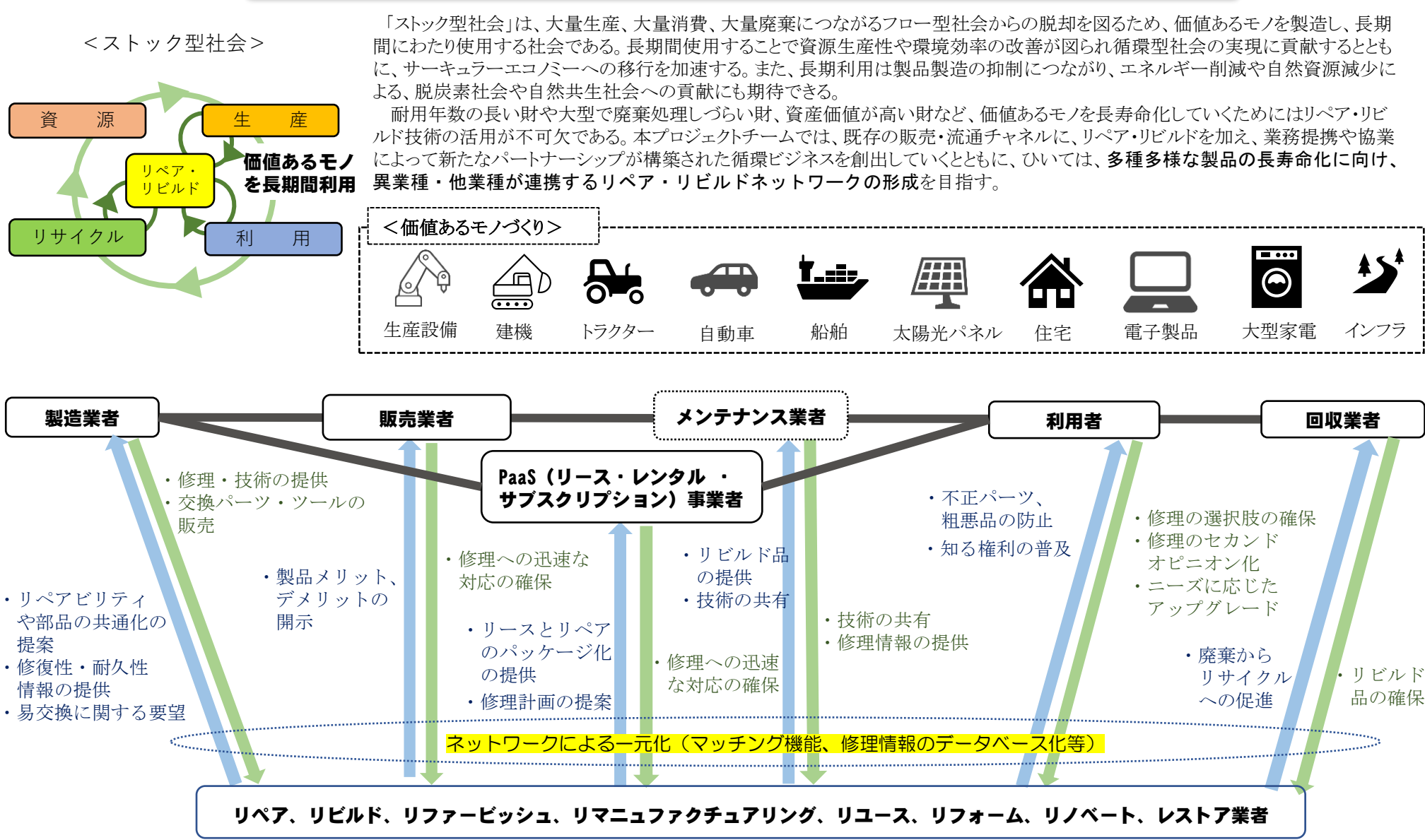
- ・フランスでは、国内で販売される電子機器に「修理しやすさ(リペアビリティ)」の評価の表示を義務化。(2021年1月)
・アメリカ連邦取引委員会は「修理する権利を制限するメーカーの慣行に対する法的措置を強化する」ことを表明。(2021年7月)
・「成長志向型の資源自律経済戦略(2023年3月策定)」では、リペア等製品の適切な長期利用を行う産業の育成を推進。
・「循環経済工程表(2022年9月策定)」では、リペア、メンテナンス、サブスクリプションなどのストックを有効活用しながら、サービス化や付加価値の最大化を図る新たなビジネスモデルの取組を推進。
・「地球温暖化対策計画(2021年10月策定)」では、都市・地域の脱炭素に向け、インフラの長寿命化を推進。

【3 課題】

- 1 リペア・リビルドがより社会に普及するための、産業としての活性化
2 単純な修理の枠を超えた新たな付加価値の創出
3 リペア・リビルド品の品質向上、安定的確保を図る技術・サービス力の強化
4 リペア・リビルドが当たり前を実施される文化を醸成していくための、地域における仕組み・体制づくり
5 リペア・リビルド産業の成長や利用拡大につながるソフトローを含めた制度作り

【4 目指す姿】

～フロー型社会からストック型社会への変革～ 『リペア・リビルドネットワークの形成』



【リペア・リビルドネットワークのイメージ】

【5 方針と取組】

- 方針①: ニーズの高いリペア・リビルド領域の明確化
方針②: 高付加価値なオプションの提供
方針③: 新技術・サービスの拡充
方針④: 新たな連携の拡大
方針⑤: 経営戦略・事業戦略の明確化

【6 進め方】

リペア・リビルドの普及に向け、連携可能なパートナーを発掘しながらネットワークの拡充を図るとともに、リペア・リビルドへのニーズを把握しながら事業化に有効な領域を決定し、5年を目処に新たなビジネス展開への足がかりをつくる。